

# きぼうの虹通信

第 2 号  
2012. 11. 20発行

すみだピンクリボンイベント & がんパネル展で  
第 2 回がん哲学外来カフェ in すみだを実施！！

墨田区役所では毎年 9 月のがん征圧月間と 10 月の乳がん月間に合わせて、がん予防やがんに関する知識の啓発を目的に区役所 1 階のアトリウムで、がんに関するイベントを行っています。

今年は 10 月 3～5 日に開催されました。講演会やパネル展の他にピンクリボンウォークや東京スカイツリーのライトアップなども行われました。



その一環として、10 月 3 日(水)午後 6 時から 8 時リバーサイド会議室でがん哲学外来カフェを開催しました。

参加者は 22 名、がん患者さん 6 名と一般区民の方 2 名、医療福祉関係者 14 名でした。

「患者会というと敷居が高いが、がん哲学外来 CAFE のネーミングが来やすかった」、「がんのことを語れる会にいろいろ参加したい」と言う方や、自身で乳がん患者会を立ち上げている方、がん患者さんに仕事で関わる中で、患者さんが自身の体のことより身内の心配をしてつらくなっているのを見てリラックスできる場が必要、などなど……。ここへ来た経緯を話し、人としての「対話」を求めてこられた方が多くいることがわかりました。

樋野先生の講話の後、メンバーからその場で、ジュースで作る野菜ジュースのサービスがありました。人参の甘さに一同びっくり！

“無頓着なほどに大胆”、“形容詞が大切”、“対話は自分で探しに行くことが大切”、“(-)×(-)=(+)”などのキーワードを聞き、皆さん少し元気になって終了しました。



## ◆がん哲学外来とは…◆

一般的ながん相談やセカンドオピニオン相談と異なり、患者の生き方やスピリチュアルな問題について患者と十分に対話するものである。がん患者・家族はがんとともに生きていく上で、病気を治すことだけではなく、人とのつながりを感じ、尊厳を持って生きることを求めている。(2011 佐久宣言から抜粋)

詳しくは <http://www.shimingakkai.org/>

## ◆がん患者サポート研究会『きぼうの虹』って？◆

私たち『きぼうの虹』は、がん当事者を含む医療関係者と墨田区職員中心の研究会です。

がん患者への施策はとかくターミナルに目が向かいますが、私たちは、がん患者が生き生きと生活するために必要な資源や場、施策は何かを考えるために、いろいろな立場の講師を招いてがん患者の置かれている状況や社会的な背景を勉強しているグループです。

現在、私たちは「がん哲学外来カフェ」を含む、がん患者・家族に必要な場や資源を提供していくための NPO 法人の立ち上げを予定しています。このことにご関心のある方ぜひご参加を！！

「がん哲学カフェ in すみだ」は隔月(偶数月)1 回第 1 水曜日の夜開催予定です。

\* お問い合わせは Tel 3626-2317 \* 参加申込みは fax3626-2318 または E-Mail; [fresca-mike@r3.dion.ne.jp](mailto:fresca-mike@r3.dion.ne.jp)

『きぼうの虹』事務局(訪問看護ステーションみけ) 椎名 まで、宜しくお願いします。

次回: 12 月 5 日(水)午後 6 時～墨田区役所 131 会議室にて。(次々回は 2 月 6 日を予定)